

平成26年2月25日 会頭記者会見 発言要旨

時事の話題

■景況について

ソチオリンピックが閉会した。自分の限界を決めずに挑戦する選手たちの姿に感銘を受けた。

2013年の4～12月期連結決算では、円安の効果を受けて、電子部品関連企業などで好調な数字が目立った。観光の分野も、春の観光シーズンに向けて好調が続くだろう。消費増税前の駆け込み需要による個人消費の増加もあり、緩やかに景気が回復してきた印象である。一方で、同年10～12月期のGDPの伸びが市場の予想を下回るなど、懸念材料もある。景気の明るさが地域経済や中小企業にまで行き届くよう、成長戦略の着実な実行が重要だと感じている。

経済の好循環には、設備投資に加え、賃上げもひとつの焦点である。消費税増税後の景気回復は賃上げが鍵を握っている。大手企業では既に賃上げの動きが進んでいるが、経営者が自社業況の改善に確信を持つことができれば、個別の企業の判断で、賃金の上昇も期待できるだろう。消費税増税後も経営者の投資意欲、消費者の消費意欲を保つため、政府には、安定成長のシナリオに狂いのないよう法人減税や規制改革など経営環境を整える施策を講じていただきたい。

京都商工会議所の動き

■第5回知恵ビジネスプランコンテスト認定企業について

本所では知恵産業の先導役となる知恵ビジネス企業の創出に取り組んできた。今年度の知恵ビジネスプランコンテストでは、6件の事業プランを認定した。衣食住に関する顧客の新たなニーズや環境などの社会課題に対応したプランが揃い、知恵ビジネスに「広がり」と「深まり」が感じられる結果となった。認定したプランについては、事業化に向けた課題に応じて、ハンズオン支援を継続的に行い、プランの実現を目指していく。

■平成26年度事業計画の方針について

2月度の常議員会で平成26年度の事業計画案を協議した。会員企業の新たな事業創造の挑戦を応援したいという想いをタイトルに込めている。来年度はニュー京商ビジョン・サードステージの初年度にあたる。サードステージを着実に推進し、2年後、3年後につながるように、これまでの取り組みの新陳代謝を図り、新たな取り組みにも挑戦していきたい。重点的に取り組むべき3つの課題を掲げている。

1つ目は、知恵ビジネスや新市場開拓への支援強化である。知恵ビジネスを大きな市場である首都圏やアジアへと展開するため、「知恵ビジネスメッセ in 東京(仮称)」や、海外版の逆商談会「アジア市場開拓チャレンジ事業」などを計画している。

2つ目は、会員交流のより一層の充実である。会員数が1万2千を回復したが、入会動機として多く挙げられるのは、他の企業や異業種とのつながりや人脈の拡大である。こうしたニーズに応えるため、「会員交流充実プロジェクト(仮称)」を展開し、会員同士の交流の質と量の充実を図ることで、ビジネス交流やマッチング、新商品開発や新たな販路開拓など、会員企業の新たな事業創造につなげたい。

3つ目は、京都経済センターの実現である。関係者の一層の協力と努力を得て、引き続き早期の実現を目指して取り組みたい。

この事業計画案は、本所役員等に意見照会し、3月の議員総会で正式に決定する。

記者からの質問事項

■知恵ビジネスを首都圏やアジアへ展開していく上で、昨年秋の知恵ビジネスメッセの成果や手応えを教えてください。

成約件数や金額については現在取りまとめているところであるが、アンケートでは参加企業の9割以上の方が満足と回答している。

■アジア市場開拓チャレンジ事業は具体的に何をしていくのか。また、この取り組みはJETROの京都事務所開設と関係はあるのか。

アジアに販路を持つ商社などを買い手企業として招き、売り手の中小企業が商品・サービスを売り込む形の商談会を開催する。ターゲットとする市場は海外だが、京都で行う商談会である。この事業はJETROと直接的な関係はないが、今後いろいろと連携していくことは大いにある。

■新たなエネルギー基本計画が関係閣僚会議でまとめ、原発の再稼働を進める方針を示したようだ。これについて会頭のお考えをお聞きしたい。

原発の長期停止に伴う火力発電の燃料費増加は、国富の流出、成長戦略の足かせになる。電力安定確保のため、当面は安全性が確認された原発を再稼働させ、安定供給とコストの両面で最適なエネルギー供給体制づくりを進めていくべきであり、今回の決定に安堵している。

中長期的にはエネルギー需給構造上の課題の解決に向けて技術革新を進めていくべきである。新たな省エネ・創エネ技術による安全で安定供給が可能な低エネルギー社会を目指し、一方では原発をより安全なエネルギーとしていくための研究や技術革新への取り組みも重要である。将来、どういったエネルギーミックスが日本にとって最適であるかどうかは、そういった技術革新の進捗度合を踏まえて、決めていけば良いと思う。

■消費増税前の駆け込み需要を受けて好転している業界があるが、増税後の4月以降の反動が心配されている。不安な要素があれば、教えてください。

自動車関連や住宅・建設業界が増税後に反動があると言われているが、政府も消費増税対策に予算を計上しており、心配するほどの影響はないだろう。増税後の景気回復は賃金の改善が鍵を握るのではないかと。賃金の改善が設備投資や一般消費につながっていくだろう。

■大手企業が賃上げを発表するなかで、京都企業は今後どう対応するとみているか。

円安の効果を享受している電子部品関連企業では、おそらく労働組合側に対して前向きな賃上げの回答があるだろう。それに続いて中小企業が、業績に応じて可能なところから追随していくと考えている。どのくらいの企業が賃上げの対応をとるか、現時点で回答するのは難しい。

以上

第5回知恵ビジネスプランコンテスト 結果報告

概要: 知恵ビジネスの創出・育成を図るため、京都府内の中小企業を対象に、京都の特性または企業独自の強みを活かし、新たな知恵によって独自の技術や商品・サービス、あるいはビジネスモデルを開発し、“顧客創造”を実現するビジネスプランを公募(平成25年10月22日～11月29日)。専門家による審査を経て、6件のビジネスプランを「知恵ビジネス」として認定しました。

応募: 70件

審査: 知恵の「巧み(独自性、優位性)」、知恵の「インパクト(社会性、顧客創造性)」、実現性(プランの熟度、市場性、実行力)の観点から、書面審査、実地調査、面接審査を経て最終決定。

支援: 今後、認定したプランの実行・実現に向けて、本所経営支援員が担当となり、各種専門家等と連携しながら、経営戦略・マーケティング、資金調達、広報、マッチング等の支援活動を実施していきます。

参考: ○第1回コンテストから、認定プランは累計30件となりました。

○今回の認定プランの表彰と内容発表を、3月4日「京都・知恵ビジネス大交流会2014」にて行います。

企業名五十音順

1 プラン名 : ワンストップ・リノベーションと コワーキングスペースの相乗効果で老朽ビルを再生

株式会社アーキネット京都 代表取締役 黒木 幹雄

[京都市中京区烏丸通蛸薬師南入る手洗水町647 <建築設計業>]



長年蓄積してきた設計や工法のノウハウや経験、コワーキングスペースで育成したクリエイター等を活用し、老朽ビルのリノベーションを、市場調査から事業性分析、設計・施工、テナントリーシングから財務・会計サポート、入居者管理までのワンストップサービスで提供する。

2 プラン名 : お年寄りの生活に潤いをもたらす 「お菓子の月間献立宅配システム」

株式会社青木光悦堂 代表取締役 青木 隆明

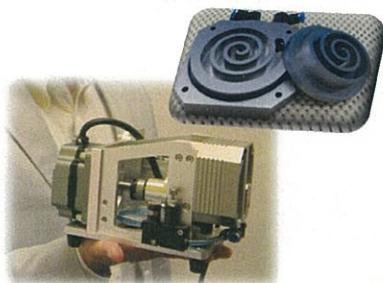
[京都市山科区大宅御所田町30-3 <菓子卸売・小売業>]

シリーズ展開する「ころなごむ故郷の銘菓」の強みを活かし、高齢者施設等にお菓子の宅配システムを提供し、入居者・利用者が毎日のおやつ時間に食べるお菓子の献立を週単位や月単位で提案、高齢者に季節のお菓子を食べる喜びを提供するとともに、施設側のお菓子手配の負担を軽減し、販路開拓を図る。



3 プラン名 : 「オイルフリー」「チップシールレス」の
極小型・低騒音・省エネのコンプレッサー

株式会社坂製作所 代表取締役 坂 栄孝
[京都市右京区花園伊町44-12 <精密機器加工業>]



超精密加工技術を活かし、「極小型」「低騒音」「省エネ」の“SAKAパーソナルコンプレッサー”を開発・製造・販売。セル生産や頻繁に製造ラインを変更する工場、医療・介護施設等のこれまでのコンプレッサーに不自由を感じていたり、使用できなかった先に、きれいな圧縮空気を、静かに、どこでも手軽に提供することで、新市場を開拓する。

4 プラン名 : 枕から寝室リフォームまで睡眠環境改善へのパーソナル提案

大東寝具工業株式会社 代表取締役 大東 利幸
[京都市伏見区横大路下三栖山殿66-2 <寝具・インテリア品製造・卸・小売業>]

大正14年創業以来の寝具づくりの知識、技術・ノウハウと住宅リフォーム等の建築建装事業展開のノウハウを活かし、顧客へのヒアリング、生活環境に応じた自社生産による寝具や内装リフォームサービスを提供し、眠りに関する悩みや課題の解決、快眠を実現する寝室環境づくりに貢献することを通して、新規顧客を開拓する。



3

5 プラン名 : 古材を部材化（標準化）し、システムキッチンや家具として再生

株式会社丸嘉 代表取締役 小畑 隆正
[京都市伏見区横大路貴船114 <木材卸売業>]



150年以上の歴史で培った木材に関する知識や製材技術、大学との連携などによって、一つ一つ状態が異なる古材を部材化することで、一定の標準化を図り、それらの部材を組み合わせることでシステムキッチンや家具として甦らせる。一点ものの従来の古材家具とは異なり、ある程度の量産にも対応できるなど、古材の魅力と可能性を大きく広げる。

6 プラン名 : 「糸への草木染」量産技術と
オリジナル12色が広げる新しい商品用途

株式会社村田染工 代表取締役 村田 正明
[京都市中京区西洞院通三条上姉西洞院町531番地 <染色加工業>]

草木染の工業量産による染色加工のノウハウや、染整理仕上げ加工技術と独自のネットワークを活用し、「糸への草木染」によるオリジナルカラー12色を開発。ファッションの現場や業界が抱える課題解決を図り、ストールや婦人服等の衣料ほか、トートバックといった用途を拡大し、新規顧客を開拓する。



4

京都・知恵ビジネス大交流会2014

『勝ち残る中小企業に求められる改革と挑戦』

京都商工会議所では、京都に生き続けるさまざまな知恵や自社の強みを生かして、新たな顧客創造を図ろうとするビジネスを応援しています。京都ならではの知恵を持った事業者が一堂に会する大交流会で、貴社の「知恵の使いどころ」や「強み」について考えてみませんか。当日は、第5回知恵ビジネスプランコンテスト認定プランの表彰・プレゼンテーションも実施いたします。

日時

平成 26 年 3 月 4 日(火) 14:30～19:00

定員

300 人(先着順)

会場

京都ホテルオークラ(4階)「暁雲の間」 [京都市中京区河原町御池]

参加費

無料 ※ビジネス交流懇親会は、参加費 2,000 円(当日、会場で拝受いたします)

内容

14:30～

記念講演「勝ち残る中小企業に求められる改革と挑戦」

講師: 財部 誠一氏 (経済ジャーナリスト)

1956 年東京生まれ。慶應義塾大学卒業後、野村證券に入社。退社後、出版社勤務を経て経済ジャーナリストに。テレビ朝日「報道ステーション」などTVやラジオでも広く活躍中。また、政策シンクタンク「ハーベイロード・ジャパン」を主宰し、各種の政策提言を行っている。『メイド・イン・ジャパン消滅! ～世界で戦える「製造業」をどう守るか～』(朝日新聞出版)など著書多数。



第5回知恵ビジネスプランコンテスト認定式・発表会

17:30～

ビジネス交流懇親会 ※有料(1人2000円・当日現金)

認定プラン事業者をはじめ、京都で新しい試みに挑戦する事業者の情報交換会

申込締切

2 月 28 日(金)

申込方法

FAX、E-mail、本所ホームページからお申込みください <http://www.kyo.or.jp/kyoto/>

主催・お問い合わせ

京都商工会議所 知恵産業推進室

TEL 075-212-6470

FAX 075-212-8871

E-mail bmpj@kyo.or.jp

京都・知恵ビジネス大交流会 2014 申込用紙 (FAX:075-212-8871)

貴社名: _____

TEL: _____ FAX: _____ Eメール: _____

御出席者

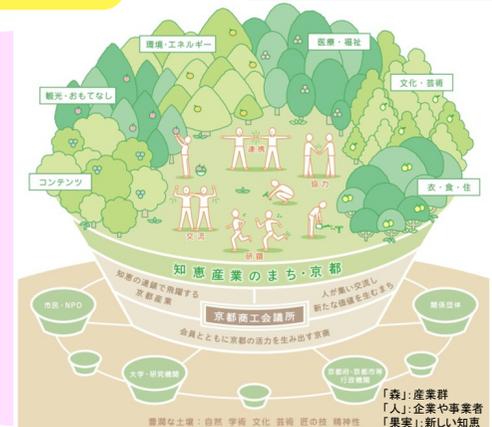
御所属・御役職	御芳名	交流懇親会(いずれかに○)
		参加 不参加
		参加 不参加
		参加 不参加

※ ご記載頂いた個人情報、本所事業の実施運営にのみ利用します。

～新たな事業創造への挑戦～

ニュー京商ビジョン サードステージ スタートアップ 重点課題

- ① 知恵ビジネスや新市場開拓の支援強化
- ② 会員交流のより一層の充実
- ③ 京都経済センターの実現



環境・エネルギーや観光・おもてなしなど様々な分野で、伝統産業から先端産業までの幅広い知恵ビジネスの木々が群生する「知恵産業の森」。京商は、ニュー京商ビジョンの着実な推進により、創造性あふれる「知恵産業のまち・京都」を実現し、**京都VISION2040**「世界交流首都・京都」へとつなげます。

A. 知恵の連鎖で飛躍する京都産業

A1. 知恵ビジネス支援

A1-1. 知恵ビジネス支援施策の展開

- ・京都産業育成コンソーシアムを核としたオール京都体制による知恵産業の推進
- ・「第6回知恵ビジネスプランコンテスト」の実施
- ・「知恵ビジネスメッセ in 東京(仮)」の開催【新規】
- ・「京のイチ押し商品売り込み商談会」の充実・強化
- ・「知恵産業・経営大会2014」の開催
- ・京都産学公連携機構との連携による「未来技術交流会」の開催
- ・第3期環境行動計画の策定、「京商ECOサロン」等による環境産業の支援

A1-2. アジアビジネスチャレンジ支援

- ・インドネシアなど東南アジアへのビジネスミッションの派遣
- ・アジア市場開拓チャレンジ事業の実施【新規】
- ・JETRO京都事務所の設置推進などアジアビジネス相談体制の整備推進【新規】

A2. がんばる中小企業支援

A2-1. がんばる中小企業をしっかりと応援

- ・経営革新、事業承継、創業等の経営支援活動の強化
- ・「中小企業応援隊」事業の推進
- ・「京商起業家倶楽部」事業の実施
- ・共済制度の推進による経営力強化
- ・「京都版FEMS:Factory Energy Management System(仮)」の普及促進【新規】

A2-2. 人材育成、人材確保の支援

- ・公開セミナー、オーダーメイド研修の充実
- ・「求める人材・育てる人材交流会(仮)」の開催【新規】
- ・簿記、販売士など商工会議所検定試験の受験者拡大
- ・ジョブ・カード制度や合同企業説明会などの活用促進による人材確保・雇用支援

A2-3. 経営支援力の強化

- ・経営支援員による「京商・しっかりと応援300社プロジェクト(仮)」の展開【新規】
- ・「経営支援成果検証・評価事業(仮)」の実施【新規】
- ・「がんばる経営応援専門家ネットワーク」の推進

B. 人が集い交流し 新たな価値を生むまち

B1. 創造性が開花するまちの推進

B1-1. 京都ブランドの推進・発信強化

- ・クリエイティブコラボレーション支援事業の実施【新規】
- ・「京都クリエイティブ海外展開助成金」の創設【新規】
- ・海外販路開拓支援事業「Kyoto Connection」、国内販路開拓支援事業「project kyo-to」の推進
- ・「KYOTO CMEX」の開催などコンテンツ産業の振興
- ・京都創造者大賞の実施

B1-2. 賑わいのある都市空間の創造

- ・岡崎・梅小路地区など賑わい拠点づくりの推進【新規】
- ・リニア中央新幹線の東京・大阪間全線同時開業および京都駅誘致の推進
- ・「京都スタジアム(仮)」の建設促進

B1-3. 地域価値創造の支援

- ・地域事業者や商店街等の地域活性化事業への支援
- ・支部別「地域活性化会議」の開催
- ・新しい産業観光を提案するクリエイティブツーリズムの展開【新規】
- ・琳派400年記念事業の実施【新規】
- ・小倉百人一首殿堂「時雨殿」の運営支援

B2. 大交流都市の創造

B2-1. おもてなし・京都顧客創造の推進

- ・「おこしやす・外国人観光客セミナー」の開催などインバウンド“賑耕”事業の推進【新規】
- ・「観光おもてなし向上ミーティング」の実施など観光・変化対応力強化事業の推進【新規】
- ・京都・観光文化検定試験のさらなる受験者の拡大と合格者の活躍機会の創出

B2-2. 集客・交流のエンジンとなる京都MICEの強化

- ・京都におけるMICE受入体制の整備促進
- ・ミラノ万博京都ウィーク(仮)の推進【新規】

B2-3. 京都経済センターの実現

C. 会員とともに京都の活力を生み出す京商

C1. 魅力ある会議所活動

C1-1. 会員のビジネス交流の推進

- ・「会員交流充実プロジェクト(仮)」の展開【新規】
- ・「定例会員講演会」など全会員対象事業の充実
- ・「新入会員ビジネス交流会」、「地域ビジネス活力交流会」など多様なジャンルの交流事業の強化

C1-2. 会員との「絆」強化

- ・会頭・部長による会員訪問の実施
- ・全職員による会員訪問活動の充実

C1-3. 情報発信機能の充実

- ・会報のリニューアルによる会員情報の発信強化
- ・WebサイトやSNSによる本所サービスの発信充実
- ・首都圏、海外への会員企業の情報発信支援の強化

C1-4. 部会・委員会活動の強化・充実

C1-5. 女性会・青年部の活動支援

- ・日商青年部全国大会 京都開催の支援
- ・女性会創立30周年記念事業の実施

C2. 会議所基盤の強化

C2-1. 会員増強運動の実施

- ・1万3千会員を目標とした会員増強運動の実施(3カ年)【新規】

C2-2. 意見・提言活動の強化

- ・京商政策フォーラムの開催
- ・国・京都府・市への提言・要望活動の強化

C2-3. 府内会議所、経済団体、関西の関係諸機関との連携強化